

環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング発表資料

活動団体名：伊豆半島ジオパーク推進協議会

活動地域：伊豆半島15市町（熱海市，伊東市，下田市，三島市，伊豆市，伊豆の国市，沼津市，函南町，西伊豆町，松崎町，南伊豆町，東伊豆町，河津町，清水町，長泉町）

活動におけるテーマ

サステイナブルツーリズムの推進

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

◆サステイナブルツーリズムの推進

伊豆半島の自然・文化を知り・守り・活用することで持続可能な開発を実践します。

- ①火山できた伊豆半島の大地とそこで育まれてきた動植物・文化を尊重する
- ②伊豆半島の自然を保全し文化を継承する
- ③人・モノ・カネ・情報・エネルギーの域内循環を向上させる
- ④観光業におけるサービス向上、雇用創出、所得増加、事業継続を目指す
- ⑤責任ある旅行者が伊豆半島の自然と文化を満喫できる時間と空間を提供する

*観光は目的ではなく持続可能な開発を実践するための手段。

*伊豆半島ジオパーク基本計画の「地域経済とサステイナブルツーリズム」に該当

地域の現状と課題

地域の現状

◎活動地域の概要

ジオパークとして伊豆半島15市町が持続可能な開発に取り組む（2012年国内認定、2018年ユネスコ認定）

◎活動地域の特性（強み・弱み）

強み：国内でも有数の観光地
ジオパークの域内外ネットワーク

弱み：マストツーリズムの弊害
域内循環が不十分

◎地域資源

伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク
富士箱根伊豆国立公園
自然・文化、温泉、地場産品など
（自然遺産・文化遺産リスト作成済）

課題

◎現状から考える地域の課題

・ジオパークの認知が高まるも、その活用は不十分

◎今後取り組むべき課題

- ・ソーシャルキャピタルの醸成
- ・パートナーシップの構築
- ・ST推進団体との連携
- ・域内交流の促進
- ・情報発信方法の整備
- ・効果測定とその可視化

◎課題の中で地域循環共生圏を活用し、解決しようとする課題

- ・パートナーシップの構築
- ・情報集約サイトの構築

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

◆ステークホルダー

- ・当協議会 会員72団体
行政、大学、交通事業者、金融業、NPO、ガイド団体など
- ・応援会員146社（観光関連業者中心）

◆ボトムアップアプローチ

- ・ワーキングチームの立ち上げ
 - ・基準・ルール作り
 - ・パートナーシップ協定の締結
- これらをジオパーク基本計画にも反映



写真 海ジオワークショップ

【例えば】情報集約サイトの構築



- ①ワーキングチームの立ち上げ
ガイド団体、アクティビティ事業者、ホテル・旅館業、交通事業者、行政、情報通信事業者ほか
 - ②基準・ルール作り
例) 環境に配慮した宿泊や観光体験を提供しているか？
わさびなどの地場産品を積極的に活用しているか？
プラスチックごみの削減に取り組んでいるか？
「責任ある旅行者」について情報発信しているか？
 - ②パートナーシップの構築
基準に基づきジオパークと個別事業者間で協定締結
 - ③情報集約サイトの構築と運用
パートナー事業者を掲載、プロモーション
- (効果測定)
- －「旅行者が選ぶIzu Peninsula UGp Best Practice Award」の運用
 - －サイト訪問者の分析 など

今後の事業取り組み予定

◆今後の取り組み

国際的な持続可能な地域開発プログラムである「ジオパーク」の枠組みの下、本事業では「パートナーシップの構築」と「情報集約サイトの構築」を通じて伊豆半島におけるサステイナブルツーリズムを推進する。

具体的には

- ・ 専門部会・作業部会の設置（ボトムアップアプローチ）
例）パートナーシップ部会、情報集約サイト構築部会、海のアクティビティ部会、ジオトレイル部会、エネルギー部会など
- ・ 部会を通じたステークホルダーの利害調整とパートナーの発掘
- ・ 担い手支援：情報発信サイトの構築、域外ST事業者との連携など
- ・ エコツーリズム推進全体構想の提出
→伊豆半島でジオパーク、エコツーリズムの一体的な運営を実施する



写真 鉢窪山さんぽ

◆今後必要となるもの（域内調達が難しいもの）

- ・ 効果測定手法および観光動態調査手法の開発
- ・ 域外サステイナブルツーリズム事業者との連携

スケジュール（令和元年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング				現地意見交換会		◇中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◇		◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの策定				◇キックオフミーティング ◆ステークホルダーからの意見聴取				◇パートナーシップ部会の設置		分野別基準作りなど		
								◇情報集約サイト構築部会の設置		基準作り、パートナー協定、サイト構築		
ステークホルダーの巻き込み	*既に地域内の主要なステークホルダーの巻き込みは完了						◇サステイナブルツーリズムを推進する団体との連携協議					